

火薬類消費許可申請書 (煙火)

平成 年 月 日

有明広域行政事務組合

代表理事

様

申請者氏名

〔 法人の場合は
名称及び代表者名 〕

印

名 称				TEL			
事業所所在地				〒			
職 業							
住 所							
代表者名 (年齢)							
火薬類の種類 及び数量	打揚煙火	2号玉	個	5号玉	個	15号玉	個
		2.5号玉	個	6号玉	個		個
		3号玉	個	7号玉	個		個
		3.5号玉	個	8号玉	個		個
		4号玉	個	10号玉	個		個
	仕掛煙火 ※内訳は 様式1-2	スターマイン	台	枠仕掛	台	その他	台
		小型煙火	台	綱仕掛	台		
	黒色火薬			kg			
目 的							
場 所							
日 時 (期 間)	自	雨天の場合		自			
	至			至			
危険予防の方法							

火薬類（仕掛煙火）の種類及び数量

仕掛煙火	種類	商品名	※消費方法による分類	数量（個・台）	備考	

- 備考 1 ※印欄は、種類が小型煙火の場合に次表の分類欄から選択し記入すること。
- 2 計画する小型煙火は、製品の名称、形状、火の粉の飛散範囲等を明示した資料を添付すること。

小型煙火の種類	燃焼の仕方	分類	保安距離
噴出、回転、推進、及び音・光（噴水、火車、爆竹、縄火等）で発射薬を使用しないもの	設置固定した場所から動かないもの	A	煙火製造・販売業者等が発行する煙火仕様書に示された最大飛散距離の2倍以上とする。 ただし、20m未満の場合は最小距離20m以上を確保する。
	限定された範囲内で推進するもの	B	
球状若しくは円筒形の星等（乱玉、トラ、花束等）及び球状若しくは円筒状の煙火部品（小割、音、飛翔、笛等）を発射薬を使用して連続的に打ち揚げるもの	星等を打ち揚げて、二次点火しないもの	C	
	煙火部品（内筒等）を打ち揚げて、二次点火するもの	D	

備考 1 最大飛散距離とは、消費地点と火の粉等の飛散物が到達する地点を結ぶ最大水平距離のこと。

煙火消費計画書

時間	煙火の種類	打上煙火の 大きさ(号)	煙火の数量 (個・台)	備 考

点火 打上の方法

煙火の種類	該当方法を○で囲むこと
単発	筒口から落とし火による。 導火線、速火線による。
連発	筒口から落とし火による。 導火線、速火線による。
スターマイン	電気点火による。 導火線、速火線による。
裏打ち	筒口から落とし火による。 導火線、速火線による。
特殊仕掛け (水爆・金魚)	陸上に固定した筒から打ち込む。 導火線に点火後水面に投げ込む。 水中に立てた棒などに筒を固定し、速火線を利用して点火打ち込む。

煙火消費従事者等報告書

消費する煙火の製造業者

名称及び代表者氏名	住所	電話番号

取扱従事者

職名（作業区分）	氏名	住所	年齢	資格	備考

(注1) 職名の欄は、保安責任者等の区分を記載すること
(注2) 備考の欄は、保安手帳、打上従事者手帳（証）の番号を記入すること
(注3) 手帳等が無い場合は、備考欄に保安教育実施日を記入し、別紙保安教育実施書を添付すること

煙火消費場所付近見取図

備考

1. 上記見取り図の中に、危険区域（・・・・・・・・・・）、煙火置場（火）を記入すること
2. 通路、人の集合する場所、建物等までの直線水平距離を明示すること。
3. 必要に応じ市販の地図を添付すること。

様式 5

保安教育実施書

事業所名

教育内容	使用した資料
イ 火薬類取締法施行規則第56条の4に規定されている煙火の消費に関する基準に関すること	
ロ 盗難予防その他煙火及び打上火薬等の管理に関すること	
ハ 煙火及び打上火薬等の性質に関すること	
ニ 危険時における応急措置、避難方法、その他煙火の消費上注意すべき事項	

保安教育実施日	保安教育時間	基準時間
平成 年 月 日	時間	2時間以上

講師名	資格等

添付資料

- ・当組合に対する申請が、当該年度で最初の申請であれば使用した資料及び保安教育実施風景の写真